

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和 5 年 10 月 26 日(木)午後 19 時～20 時 40 分
場 所 コスモふじみ野集会室 4 (コスモふじみ野町会)
参加者 18 人



主な意見等

参加者 先日、公園は誰のためにあるのかという 13 歳の子からの投書を見ました。看板などで掲示されている禁止事項だらけで、何もできないとのことでした。未来を担う子どものことを考えないのはいかがでしょうか、子どもたちがどこでもいきいきと遊べるようにしてほしいと思います。子どもの未来を育む条例が制定されたので、実際に何かしていただきたいです。

市 長 昔は空き地やボール遊びができる公園がありましたが、だんだんと家などが建ち、そういう場所はほとんどなくなりました。柔らかいボールならいいとする、この時間は子どもたちが思い切り遊べるようにしようなど、子どもたちが遊ぶための環境は、地域の大人がきちんとルールを設けて作っていきべきだと思います。以前、学校訪問をした際に、小学生からボール投げをできる場所を作ってほしいという声をいただきました。それを受けて、福岡中央公園でボール遊びをするワークショップを行いました。今後、このエリアでボール遊びができるようにしようという動きがあります。これをはじめの一步として、他のエリアにも広げていきたいと考えています。

参加者 毎週、町会で東台金山公園を清掃していますが、展示されている東台

遺跡のガラスの内側が汚れて中が見えなくなっています。貴重な遺跡なので、しっかりと市で維持管理をしてほしいと思います。

市長 東台金山公園の遺跡については担当課に伝えます。

参加者 川口市内の病院で、クルド人による100人規模の大乱闘がありました。ふじみ野駅や上福岡駅の周りは、前より外国人が増えた印象を受けます。市内の状況を把握しているのでしょうか。

市長 市にも一定程度外国の方はいらっしゃいます。外国人同士のトラブルや言葉やゴミ出しなどの文化の違いに起因するトラブルがあることは承知しています。市としては、地域のルールを多言語で伝えて、ルールを知ってもらう取組を行っているところです。ルールを知らないことで地域の住民とうまくいかないことがありますので、ごみ分別アプリを多言語で展開するなどもしています。また、親子ともに外国人のご家庭の場合、親も子も日本語を理解できないということもあります。言葉がわからないと学校のルールや提出物のことも理解することができませんので、ふじみの国際交流センターに翻訳していただいたり、子どもたちへの日本語教育を行っていただいたりしています。外国人のためというよりは、ふじみ野市にもともと住んでいた人と外国人が共存していくため、取組を行っています。

参加者 お出かけサポートタクシーのことですが、A社は素晴らしい対応をしてくれます。それに対してB社は、電話をかけると今日はありません、といきなり言ってきて対応が悪いです。B社の契約を解除してほしいと思います。

市長 対応が悪いということはお伝えします。しかしながら、契約を解除するということは、タクシーを利用されている人がお困りになりますので、できかねます。

参加者 除草剤を撒いている業者がいます。市沢三丁目に貯水池があって、その草が伸びたと思うと何日後かには草が黄色くなり業者が来て草を刈っています。あそこは除草剤を使って良いのでしょうか。

市 長 除草剤が撒かれた形跡がないかを担当者に確認させるようにします。

参加者 東台小学校の今後を検討していますが、論点を絞り地域や親の代表者が集まって話し合い、それを保護者たちに還元するような仕組みの方がいいのではないのでしょうか。そうでないと納得感が高まらずしこりが残ると思います。

市 長 東台小学校は適正規模が問題となっていて、110人くらいの児童がいますが、いずれ100人以下になると言われています。学級によっては1クラス17人くらいしかおらず、男女比も偏ってしまったいと聞いています。色々な考え方があると思いますが、本来学校というのは一定規模での基本的な集団生活を、義務教育の年齢に達した子どもたちが学ぶ場だと思っています。学問だけでなく、集団の中での友人関係なども学びます。中学校に進学した際に小規模校出身の子たちがうまく馴染めないこともありますし、クラス変えによる人間関係のリセットもありません。手法に関するご指摘は、おっしゃるとおりかもしれません。デリケートな問題なので、教育委員会としても慎重に行っていると思いますので、ご意見がありましたことをお伝えします。

参加者 「民生費、扶助費の推移」の件です。この10年で2倍近い伸びを示しています。民生費が増えていくということは、その分、他の分野の支出が減らされるはずですが、民生費、扶助費が適切に支出されているかきちんと見て、本当に必要な方に支出すべきだと思います。保護費の支給という形での援助でなく、就労支援が必要なのではないかと思います。自助の力を育むような支援を行うことが必要なのではないのでしょうか。

市 長 高齢化の影響もあり、医療や介護の支出が増えています。本市で生活保護受給世帯が1000世帯を超えたのはずいぶん前のことだったかと思っています。現在は約30億円の保護費を出していますので、本当に生活保護が必要な人なのか調査をする必要はあるかと思っています。大阪の方に警察OBを雇っている自治体がありますが、本市でも生活保護制度の適正運営を目的とした警察との連携協力体制を強化するた

めに警察OBを雇っています。本当に必要な方には速やかに保護費を支給する必要がありますが、ケースワーカーには適正な保護費の支給がしっかり見てもらい、就労することが可能な受給者については、就労支援等を活用して就労に結びつくよう、支援していくことが必要と考えています。

参加者 農地を持っている人が中々農業に従事しづらい状況を、国とうまく足並み揃えて改善して欲しいです。日本の食糧自給率はカロリーベースで30%と聞きます。有事の際に備えて国を挙げて自給率を上げるべきです。

市長 本来なら日本でも、もっと小麦を作れるのにオーストラリアから輸入しています。お米ももっと作ることはできますが、お米が余っています。日本人がもう少しお米を食べれば農家の方もお米づくりに励むと思います。外交政策上、事情があって輸入せざるをえないものもあります。農林水産省の施策は画一的で、個人的に改善すべきと考えていますので、国会議員に色々とお伝えしてまいります。